

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	妊娠中の血中亜鉛濃度および亜鉛補充と周産期転帰との関連に関する多施設共同後ろ向き観察研究		
1. 研究の目的と方法	妊娠中の亜鉛（体の働きや赤ちゃんの成長に必要な栄養素）不足は、貧血や早産など、お母さんや赤ちゃんの経過に関係する可能性があるといわれています。しかし、日本の妊婦さんにおける亜鉛不足の実態や、亜鉛補充との関連については、まだ十分に分かっていません。 この研究では、妊娠中の血中亜鉛濃度や亜鉛補充と、お母さんや赤ちゃんの経過との関連を調べ、今後の妊娠・出産に関連する診療に役立てることを目的としています。 豊洲レディースクリニックで妊婦健診を受けた後、東京慈恵会医科大学附属病院へ紹介され、出産された方の、診療録に記録されている情報を収集して、妊娠中の亜鉛の状態や亜鉛補充と、貧血、早産、赤ちゃんの発育などとの関連について詳しく調査します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	豊洲レディースクリニックで妊婦健診および血中亜鉛濃度の検査を受けた後、東京慈恵会医科大学附属病院へ紹介され、2024年1月1日～2026年5月31日の期間に妊娠・出産に関する診療を受け、出産された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、身長、体重、妊娠・出産歴、既往歴、内服薬、血液検査結果（血中亜鉛濃度を含む）、尿検査結果、超音波検査結果、妊娠中および出産時の経過、合併症の有無、出産方法、出生児の情報（出生体重、性別、呼吸状態等）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	矢内原 臨
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	豊洲レディースクリニック 院長 土肥聡（機関の長:土肥聡）
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究は豊洲レディースクリニックとの多機関共同研究として実施されますが、本研究のために新たに試料・情報を他機関とやり取りすることはありません。</p> <p>本研究で使用する情報は、患者さんの紹介時に診療情報提供書等として既に東京慈恵会医科大学附属病院へ提供され、診療録内に保管されている情報のみです。</p> <p>【情報の利用開始予定日】2026年7月頃～</p>	
<b>【問い合わせ先】</b>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座</p> <p>研究責任者：教授 矢内原 臨（やないはら のぞむ）</p> <p>窓口担当者：助教 大久保 春菜（おおくぼ はるな）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 2554）</p> <p>対応時間：平日 9:00 ～ 17:00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。